

若者・子育て世帯を呼び込み・サポートするまちに向けて・・・

【資料2】への住環境部会（9/27）でのご意見（子育て関係抜粋）

- ・「住む」前段として、このまちに「来る」ための目玉が必要。
- ・小さな取組みを積み重ねて、参加者の声も聴きながら活動をつくりあげては、
建物・スペースの整備もその中で徐々に探っていく。
- ・組織・立場関係なくみんながオープンに参加できるように。



住民（有志）と市でプロジェクトチームをつかって、
“**できること**”から、**一緒に考え、試行する**のはどうでしょう？



ねらい⇒

- ① トライを重ねて今後必要な場所・取組を考える！
- ② 子育て世帯が地域に関わるきっかけをつくる！

これまでの“できそうなこと”のアイデア・意見（主なもの）

- ・子どもが集まって遊べて、多世代で交流できる場
- ・子どもの遊びを大人が見守る場づくり
- ・青少年センターの取組みを出前で行う
- ・プレイパークはお金をかけず地域で運営可

- ・ママたちが立ち寄りやすい店や場所
- ・子どもを連れて集まれる場所
- ・親子で気軽に使える地域のたまり場
- ・子育て中のママの相談にのりたい

- ・PTAが中心となって朝ご飯の提供をしてみたら
- ・子どもと地域の接点をつくり、子どもの成長を地域で見守る関係をつくる
- ・今ある取組みを横に広げる

例えば・・・

例えば・・・

例えば・・・

プレイパークづくり

- ・子どもたちが自ら工夫してつくっていく遊び場
- ・木登り、穴掘り、たき火など、普通の公園ではできない遊びが自由にできる
- ・廃材などを活用して、お金を掛けずに実行可能
- ・子どもだけでなく大人も地域みんなが関われる

※ダッシュで取組み中



つどい場づくり

- ・子育て中の親が子どもを連れて気軽に立ち寄る場
（親同士の交流、悩み相談、おしゃべりの場として）
- ・今ある地域の資源（集会所など）を使って始めることも可能



子ども食堂+α

- ・現在、西教寺で「てらこやハッピー」を月1開催。
ボランティア運営による人気イベント
- ・勉強を教えたり、親子相談の場をつくるなど、コラボによる活動の広がりの可能性も・・・

